

# 「頻度のヒント」ユーザーズ・マニュアル (Ver. 2.01)

ワードマクロ研究所

新田順也

## うれしさ

本文中の重要な単語（複合語）を抽出できます。その抽出した単語をベースにして、上書き翻訳の用語集を作成できます。

重要単語をマーキングしたり、重要単語が含まれる文章をマーキングできます。よって、書類の内容把握を視覚的にすることができます。

## できること

- ①本文中※に使われる語句の使用頻度を表示（本文中のフレーズ、指定キーワード）
- ②表示形式を、使用頻度順、ABC（50音）順、語数順に並び替えることが可能
- ③本文中の単語やフレーズの自動取得、指定書式の文字列の自動取得が可能
- ④表示された語句をクリップボードに保存可能
- ⑤語句を文書中で検索、カーソルのジャンプが可能

※：ヘッダー、フッター、テキストボックスなど、本文以外の語句については頻度を数えません。

Today, USB drives, also referred to as Flash drives or keychain drives, are popular portable data storage devices. A USB drive can be used in place of other storage mediums such as floppy disks, CDs, DVDs, zip drive disks, etc. In most cases, the USB drive is a convenient way for connecting to a host device. These devices are only configured for connecting to a host device and therefore they do not include an interface that enable users to connect to a host device.

Portable media players, also known as digital audio players, are electronic devices that can store and play digital audio files. They are grouped into three different categories: those with internal hard drives; and those with removable storage (e.g., flash memory) and those with external hard drives. Portable media players have many advantages and drawbacks in comparison to other types of digital audio players.

Those portable media players that use flash memory or Flash media players. Flash memory is a type of non-volatile memory that is commonly used in portable media players. One problem common to many conventional portable media players is that they do not have a user-friendly interface for navigating through the media files that are stored on the device. Even with a display, the media player controls are often not user friendly.

（英文引用：US7536565）

## インストール方法

同封の「インストールの方法（頻度のヒント）.pdf」をご覧ください。

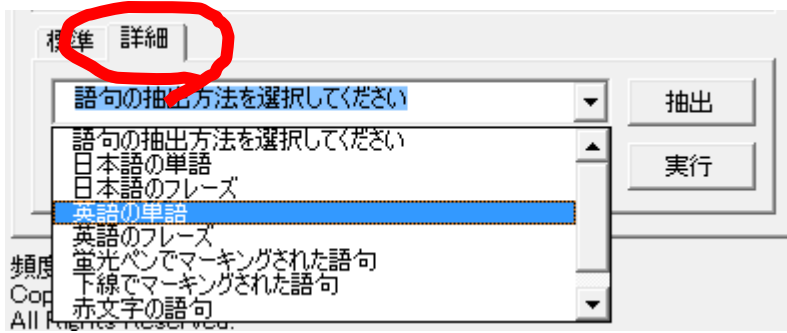
1. 抽出方法
---------

本文中の単語、フレーズレベルでの抽出の他、特定の書式でマーキングされた語も抽出できます。



上記のボタンにて、Word にて識別される単語単位で語句を抽出したり、下線が引かれている語句を抽出したりできます。

詳細タブを開くと、様々な語句の抽出方法を選択できます。

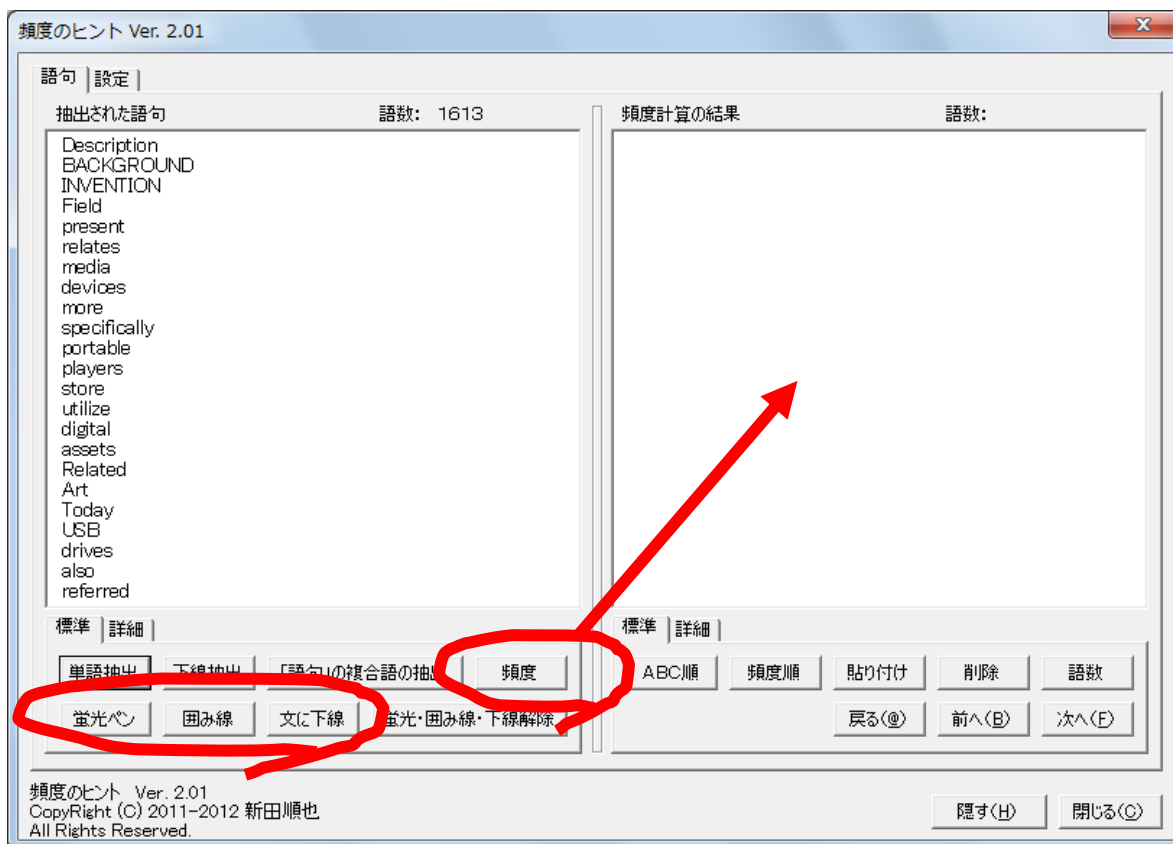


ヒント:

英単語の抽出の場合、上記のプルダウンメニューの「英語の単語」を実行した方が、[単語抽出]ボタンで英眼語を抽出するよりも、処理速度が速いです。お試しください。

## 2. 語句に対する操作方法

「抽出された語句」欄に記載された語句に対して、頻度を算出したり、マーキングをしたりできます。

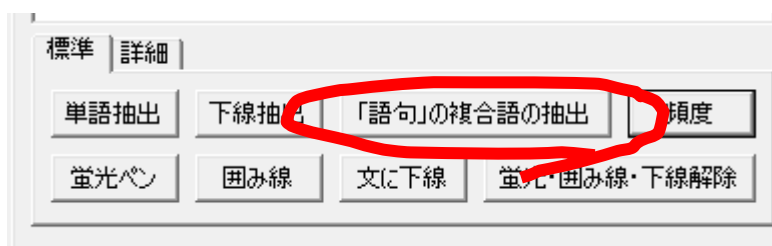


- [頻度] ボタンをクリックすると、「抽出された語句」欄の語句の使用頻度が、画面の右側にある「頻度計算の結果」欄に表示されます。
- [蛍光ペン] ボタンと[囲み線] ボタンをクリックすると、「抽出された語句」欄の語句を本文中でマーキングします。
- [文に下線] ボタンをクリックすると、「抽出された語句」欄の語句を含む本文中の文章に下線を引きます。

ヒント：

「抽出された語句」欄には、自分で文字を入力することができます。特定のキーワード集を作っておけば、それらの語句がどの程度の頻度で使われるのかを調べたり、マーキングしたりできます。

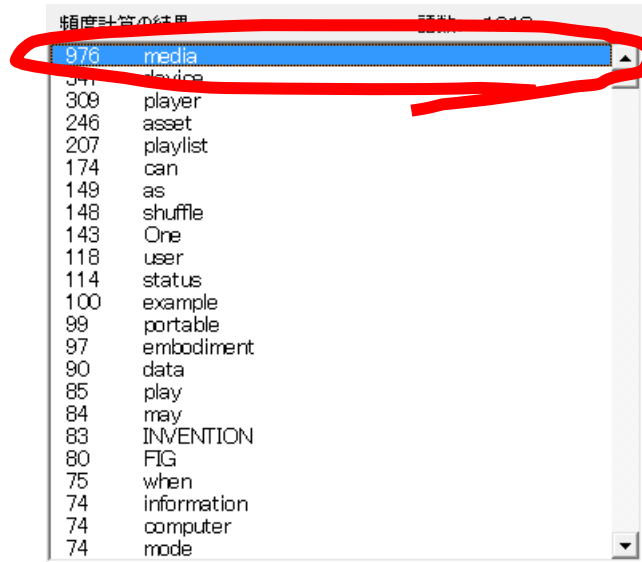
「抽出された語句」欄に表示された語句を前後に複数組み合わせた「複合語」も自動で取得できます。  
[「語句」の複合語の抽出] ボタンは、「抽出された語句」欄が空欄の場合には実行できません。



### 3. 頻度の表示

「頻度計算の結果」欄の語句をダブルクリックすると、その語句の記載箇所にジャンプします。

表示順序を並び替えることができます。



頻度順

頻度計算の結果		語数: 1613
1	)	
1	{	
2	{	
1	}	
19	}	
51	"	
6	"	
3	'	
1	.)	
69		
1	00001	
1	00002	
1	035	
1	038	
7	10	
62	100	
4	1000	
1	1002	
5	1004	
2	1006	
3	1008	
2	1010	
6	102	

ABC 順

頻度計算の結果		語数: 1613
1	transportability	▲
5	characteristics	
2	implementations	
5	synchronization	
1	configurations	
14	implementation	
2	alphabetically	
2	advantageously	
2	communications	
1	Conventionally	
1	microprocessor	
1	circumstances	
9	corresponding	
2	illustrations	
4	automatically	
4	characterizes	
2	configuration	
6	predetermined	
11	Alternatively	
7	substantially	
1	aesthetically	
2	modifications	
10	functionality	▼

文字数順

ヒント :

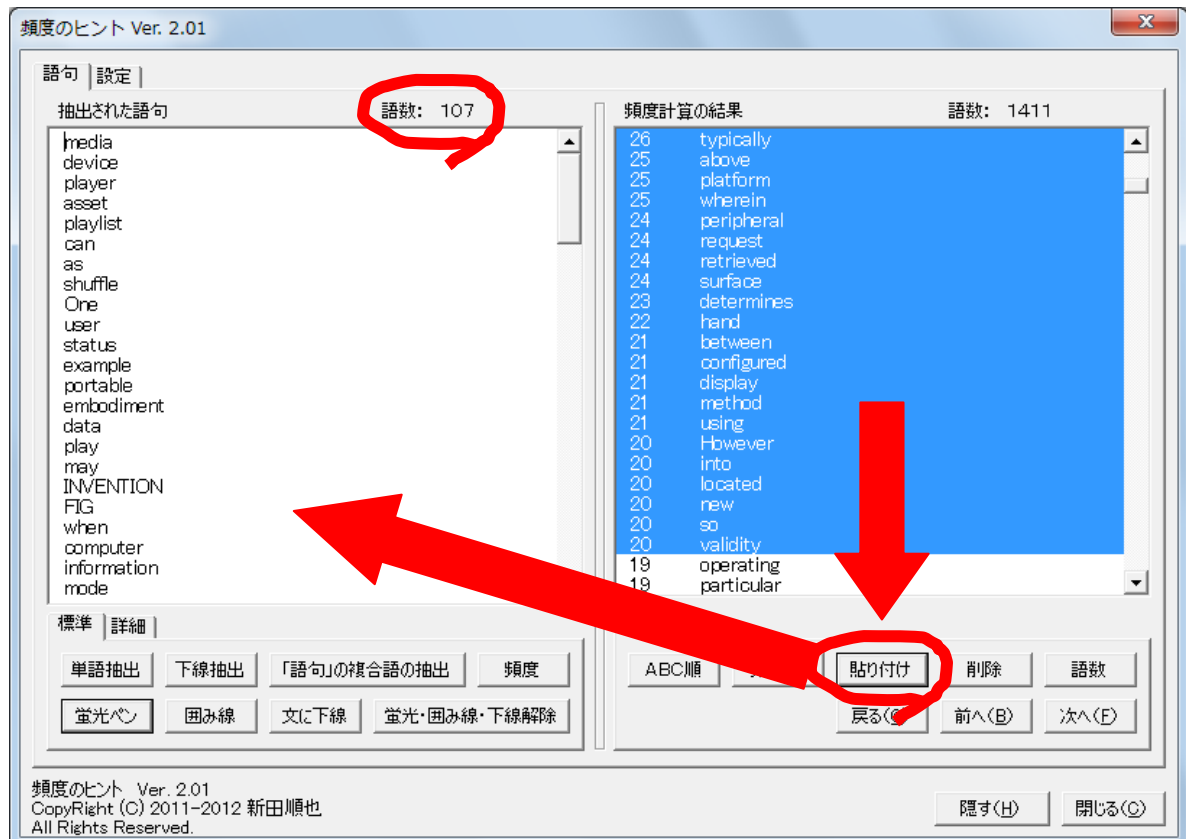
A B C 順に並び替えると数字が上位に表示されますので、数字に関連する語句をまとめて削除することができます。

#### 4. 頻度結果の操作

「頻度計算の結果」欄に対して操作します。

「頻度計算の結果」欄において、使用頻度が、例えば 20 回以上の語句を選択します。この状態で[貼り付け]ボタンをクリックすると、選択された語句が「抽出された語句」欄に貼り付けられます。

今回は、107 語が貼り付けられました。



ヒント：

上の状態で、「抽出された語句」欄の不要な単語を削除します。たとえば、「may」や「can」などの助動詞は、内容把握の場合には不要かもしれません。不要な単語を削除した後に[堂光ペン]ボタンをクリックすれば、本文中に「使用頻度の高い単語＝重要単語」がマーキングされるため、重要単語の分布合いを目視確認できます。

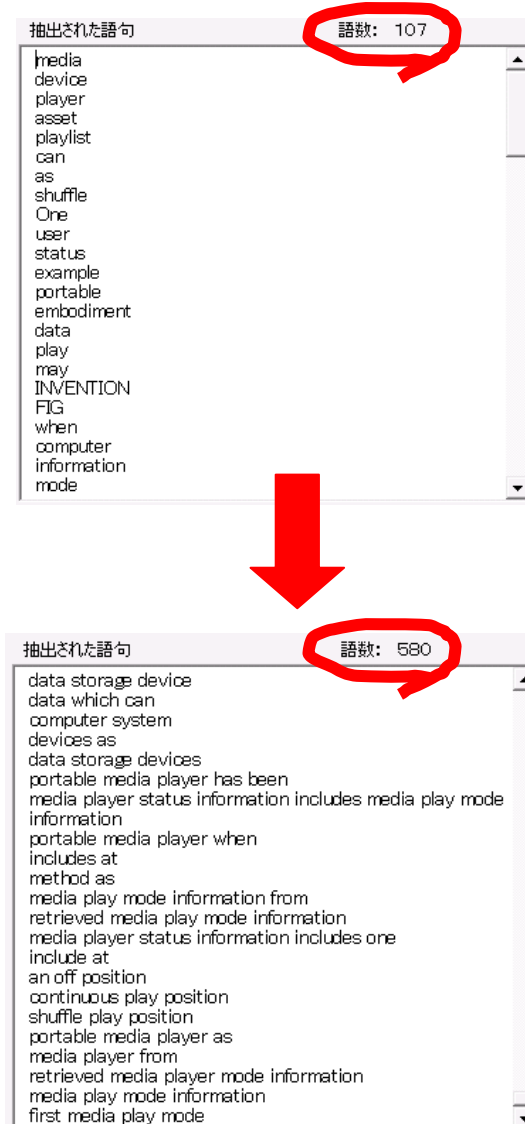
## 5. よく使われる複合語の使用頻度を調べる！

**考え方** →よく使われる複合語は、よく使われる単語同士の組み合わせです。

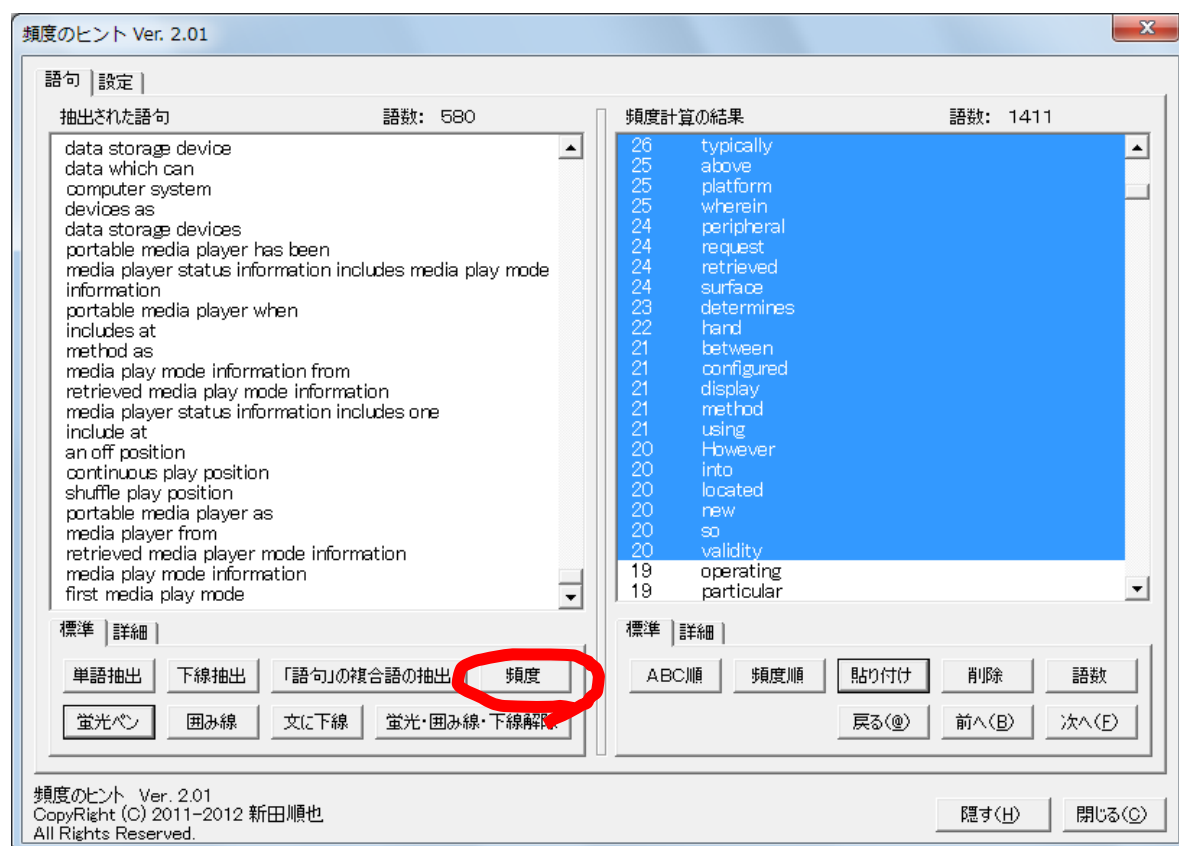
1. 前ページの方法で、使用頻度の高い単語を「語句」タブの「抽出された語句」欄に貼付けます。  
以下の例では、107 個が貼付けられました。

2. この状態で、[「語句」の複合語の抽出] ボタンをクリックします。  
今回、以下の 107 語の複合語が抽出されます。例えば、一番上に記載される「media」とその次の「device」を組み合わせた「media device」という語句が本文中に記載されていれば、その語句「media device」が「抽出された語句」欄に書かれます。

[「語句」の複合語の抽出] ボタンをクリックすると、いったん「抽出された語句」欄がクリアされて、本文中で見つかった複合語が抽出されます。結果、580 の語句が抽出されました。



3. 「抽出された語句」欄に複合語や単語がリストアップされました。この使用頻度を調べます。



4. 「頻度計算の結果」欄に、580 の語句に対して使用頻度が表示されます。この場合、例えば 30 以上の使用頻度の語句は 91 個あります。これらは文書中の重要キーワードですので、内容把握や上書き翻訳の辞書作りに役立てることができます。

頻度計算の結果		語数: 580
976	media	
343	media play	
341	device	
319	media player	
309	player	
298	media asset	
246	asset	
243	media device	
207	playlist	
174	can	
149	as	
148	shuffle	
143	One	
118	user	
114	status	
104	shuffle playlist	
100	example	
99	portable	
97	embodiment	
91	portable media	
90	data	
85	play	
84	may	

ヒント:

複合語を抽出する前に、助動詞、動詞、前置詞、数字などをあらかじめ削除します。このようにして、名詞だけをリストアップしておく、と、抽出される複合名詞の精度が上がります。目的に応じて不要な語句を削除しましょう。

▼Word マクロセミナーのお知らせ（2 回コース）

「Word を翻訳マシンにチューニングする」をコンセプトに、Word マクロのプログラミングを学ぶセミナーを開催しております。ゼロからプログラムを作るのではなく、完成品をどのように改造するのか？自分好みに作りかえるのか？を学びます。市販の Word 本に書かれていないおいしいヒント満載＋仲間作りに最適なセミナーです。ご興味のある方はご連絡ください。優先的にご案内いたします（毎回、すぐに定員に達してしまいます）。

▼関連サイト

- ・みんなのワードマクロ ブログ

<http://ameblo.jp/gidgeerock/>

ワードマクロに関する情報（マクロテンプレート、プログラムのコードと解説、書籍紹介、ウェブサイト紹介など）を公開しています。

一括置換翻訳の支援ソフト「ぱらぱら」など、有料アドインの解説もしています。関連セミナーのご案内もいたしますので、お見逃しなく！

▼メルマガ

- 【みんなのワードマクロ】メルマガ

<http://www.mag2.com/m/0001007563.html>

マクロテンプレートの更新情報や上記ブログの内容を月に 1 回発信します。

一般公開のマクロに関するバグの修正や更新があった場合には、このメルマガを通じてご連絡いたしますので、必要な方はご登録ください。

▼情報記録用のファイル

ユーザーテンプレートフォルダ（Templates）に、フォルダ（フォルダ名：みんなのワードマクロ）を作成します。そして、その中にマクロ実行用の .ini ファイル（ファイル名：mwm\_word\_freq.ini）を作成します。この .ini ファイルに、ソフトの設定情報を記録しています。

▼マクロの使用上の注意

プログラムの作成と動作確認は万全を尽くしておりますが、本ソフトにより引き起こされたいかなる事態へも責任は負いかねますので、ご了承ください。

▼動作確認をしたシステム

Windows XP + (Word 2003, Word 2007, Word 2010)

Windows 7 + (Word 2003, Word 2007, Word 2010)

▼連絡先

新田順也 (nitta@n-i-t.jp)

▼著作権について

マクロのマニュアルおよびソフトウェアの著作権は、作者である新田順也が所有しています。